



ロータリー：変化をもたらす

RI 会長

イアン H.S. ライズリー

新潟南ロータリークラブ

- 例会場 / 新潟市中央区川端町 6 丁目 53 ホテルオークラ新潟 TEL 025-224-6111
- 事務所 / 新潟市中央区西堀前通 6-905 第二西堀ビル 5 F
TEL 025-222-5050 FAX 025-222-5051 e-mail niigataminamirc@wine.ocn.ne.jp
- 例会日 / 水曜日 12 時 30 分
- 会長 / 富山 修一 幹事 / 田村 淑文 会報・雑誌委員長 / 西脇 郁夫

WEEKLY REPORT

No.2833 2017.11.29 wed

ロータリーソング ①「四つのテスト」 ②「ROTARY」

2) 今週の花 「シクラメン」花言葉：遠慮、気後れ

1) 富山 修一 会長挨拶



今日は佐藤佳実さんの卓話に因んだ話をします。10月に篠田市長がスペインはバスク地方のビルバオ市に行ってきた。そこは新潟市と同じ港町ですが、かつて隆盛した造船所が寂れ閑散とした街となっていました。食、特にスローフードでキロメートルゼロ (km0) と称し地産地消の食事の名を売っており、新潟市とも食の連携協定を結びました。

そこでスペインの料理について一考察。有名な料理はパエリア、イベリコ豚のハム、チュロス、サラミソーセージ、ガスパチョ(冷製スープ)、トルティージャ(ジャガイモの入ったスペイン風オムレツ) 等がありますが、タバスも外せません。

タバスとはアピタイザー、オードブルの意味でお酒のつまみのようなものです。例えば肉団子やイカリングフライ、またアンチョビのオリーブオイル漬け、小イカのフライ、タラのオリーブ煮や魚のエスカベッシュ(南蛮漬け)のようなものが代表的なものです。

またピンチョスと言うパンの台につまみを乗せて爪楊枝で刺したものも外せません。これもタバスの範疇に入るものです。昔はシェリー酒を飲むとき、ハエがたかる為グラスの口をパンでふたをした事に由来するそうです。タコやチーズを乗せたもの、また串に刺しただけのピンチョスもあります。また楊枝を使わないピンチョスつまりカナッパもピンチョスに入るそうです。

3) 伝達

・小野充二 会員増強委員長より



本日会員増強委員会が18:30より開催されますので出席される方はよろしくお願ひします。

4) 委員会報告

・ロータリー財団委員会 (服部 正 委員長)		
阿部 正喜 君	\$ 50	(\$ 350)
五十嵐大吾 君	\$ 30 ポリオ \$ 10	(\$ 3,770)
砂田 徹也 君	\$ 100	(\$ 6,512)
富山 修一 君	\$ 25	(\$ 2,070)
渡辺 敏彦 君	\$ 100	(\$ 29,172)



・米山記念奨学委員会 (五十嵐 大吾 委員長)

兵藤 邦広 君	¥10,000	(¥989,000)
五十嵐大吾 君	¥2,000	(¥149,000)
津吉 孝司 君	¥5,000	(¥571,000)

若山 良夫 君 ¥5,000 (¥99,000)
渡辺 敏彦 君 ¥10,000 (¥2,771,000)



5) 幹事報告 (田村 淑文 幹事)

- ・12月より1ドル=112円となります。
- ・野球の全国大会のあと調布クラブからお菓子が送られてきましたので、帰る際お持ちください。



会員数	算定対象者	出席者	出席率
107	105	87	82.86

《卓話》

「スペインおもしろ旅行記」

新潟南ロータリークラブ ピアノ演奏者 佐藤 佳実 さん

9月の23日から10月2日まで、“太陽の沈まない国”スペインを旅行してきました。私の目から見たスペインをご紹介できたらと思います。行程は、最初にマドリッドに入り、その日のうちにアンダルシア地方のコルドバへ移動。コルドバを拠点にしてアンダルシア地方を見て回りました。その後マドリッドにもう一回戻って最後はバルセロナ、そして日本に帰って来ました。

スペイン国内の移動で活躍したのが「AVE (アベ)」という高速鉄道です。とてもサービスの良い快適な乗り物でした。

到着して早速出迎えてくれたのがスペインのスパークリングワイン「CAVA (カバ)」。この旅のあちこちで、CAVAが登場することになります。CAVAを飲みながら、オリーブ畑を見ながら、AVEでの旅を楽しみました。

最初に回ったコルドバですが、アンダルシア地方はイスラム教徒の支配下に置かれていた時代があって、エキゾチックな香りが漂う雰囲気のある街です。有名なのはローマ橋やメスキータ。メスキータですが、外見はキリスト様式の教会ですが、中に入ると元モスクだったということで、イスラム風の素敵なアーチがあって、キリスト教のそれとは違う雰囲気がありました。コルドバは学問の町としても知られています。

このコルドバを足場にして2日目はグラナダに行きました。第一の目的はアルハンブラ宮殿です。美しいガーデンにうっとりしながら散策、噴水など水が象徴的に使われ、軍事要塞もあり、戦いの歴史も見られました。ベラの塔という、街が360度見渡せる高い見張り台もありました。

いよいよアルハンブラ宮殿です。噴水が象徴的に使われていて、時刻を知らせる噴水仕掛けの12頭のライオンがありました。その後、フラメンコも短いステージを見ることができました。見ごたえがありました。

次はセビリアを紹介したいと思います。セビリアは港街ですが、「カルメン」や「セビリアの理髪師」などの舞台で知られているところです。カテドラルはコロンブスの墓があるので有名です。たくさんの装飾が施され、贅沢な作りになっています。とても見ごたえがありました。セビリ

アでもう一つ紹介したいのが「メトロポール・パラソル」で、2011年に完成した世界最大の木造建築だそうです。完成するのに37年かかっています。

次はマドリッドに行きます。とにかく美食の街で、スペインの地方のお料理を全部ここで食べることが出来ます。市場でいろいろなものを買って食べ歩るのが楽しかったです。スペイン広場、格調高いスペイン王宮、王立劇場、マヨール広場。柴犬が流行していました。町の中心部にはブラド美術館もあります。

最後の場所、カタルーニャ州のバルセロナに行きます。南と比べると比較的落ち着いた雰囲気がありました。モンジュイックの丘に来るとカタルーニャの国旗がなびいていました。街全体にお洒落な雰囲気があり、普通にガウディがあります。グエル公園はモザイクのトカゲが有名です。そしてサグラダファミリアです。私達は朝の9時位に入館しましたが、ステンドグラスの青色が朝日に照らされて天井に映る仕掛けになっています。とても綺麗でした。もう一つのマジックアワーとして、反対側のステンドグラスの色は赤。夕方に行くと西日が差し、天井に映って美しいそうです。

ちょうど私たちが帰る日がカタルーニャ独立の住民投票の日でした。街も住民投票の雰囲気一杯でした。

貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。引き続きよろしくお願いたします。アディオス。

